

平成 24 年 4 月 13 日

各 位

会 社 名 株式会社 T S I ホールディングス
 代表者名 代表取締役会長兼社長 三宅 正彦
 (東証第一部 コード番号 3608)
 問合せ先 管理本部 山田 耕平
 T E L 03(5213)5511

通期業績予想と実績の差異並びに営業外費用及び特別損失の計上に関するお知らせ

平成 24 年 1 月 13 日に公表しました平成 24 年 2 月期通期(平成 23 年 3 月 1 日～平成 24 年 2 月 29 日)の連結業績予想と、本日公表の実績において差異が生じたのでお知らせします。また、連結業績において下記のとおり営業外費用及び特別損失を計上しましたのでお知らせします。

記

1. 平成 24 年 2 月期通期連結業績予想数値との差異(平成 23 年 3 月 1 日～平成 24 年 2 月 29 日)

(単位:百万円)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	連結当期純利益	1株当たり 連結当期純利益
前回発表予想(A)	150,000	4,000	6,000	7,000	60.46円
実績値(B)	147,799	6,856	12,254	27,158	254.09円
差 額(B - A)	2,200	2,856	6,254	20,158	-
差 額 率(%)	1.5%	-	-	-	-
(参考)前期連結業績	-	-	-	-	-

当期が当社の初年度であるため、「(参考)前期連結業績」は空欄としています。

2. 差異の理由並びに営業外費用及び特別損失の計上について

売上高は概ね予想通りに推移しましたが、棚卸資産評価率の一部見直しに伴う売上原価の増加などにより、営業損失は68億56百万円となりました。

また、営業外費用として、投資有価証券評価損56億65百万円(注)を計上したこと等により、経常損失は122億54百万円となりました。

さらに、特別損失として、営業用資産に係る減損損失24億44百万円、中期経営計画(平成24年4月19日ホームページ等で公表予定)策定の一環で、子会社・孫会社の事業計画を見直したことに伴い一部孫会社に係るのれんの評価替えを実施したことによるのれん償却額121億76百万円をそれぞれ計上したこと等により、当期純損失は271億58百万円となりました。

(注)平成24年2月期の決算より、有価証券について売却も視野に入れた運用方針へ見直しを行ない、これに伴い有価証券(複合金融商品)全体を時価評価した結果、投資有価証券評価損を計上することとなりました。

以 上